



だれ一人、取り残さないために。

広域避難者支援とは

住み慣れた土地を
離れる人々を支える

主催◎一般社団法人ほっと岡山 電話:0120-566-311(10時～16時/月～金)

6/14(金) 14時～17時

会場:岡山国際交流センター5F 会議室1

ハイブリッド
開催

第1回被災者支援ソーシャルワーク研修



ほっと岡山は、 東日本大震災により岡山に避難・移住 した方の生活再建支援に携わっています。

ほっと岡山の
各種情報は
こちらからどうぞ



- ・タケダ赤い羽根広域避難者支援プログラム(2014年～2016年、2018年)
- ・復興庁県外自主避難者等への情報支援事業(2015年～2016年)
- ・福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業(2016年～2021年)
- ・福島県県外避難者帰還・生活再建支援補助金(2016年～2022年)

- ・～2016年：ネットワーク組織として多様な避難者受け入れ支援を実施
- ・2016年～：全国26箇所に設置された生活再建支援拠点として相談支援、交流会、情報支援
- ・2016年～：避難者が故郷とつながりを保つため、往来旅費の補助支援
- ・2017年～：避難当事者が自ら回復するためのレジリエンス支援、ジェンダー視点で考える防災講座等実施
- ・2021年：インタビュー集『311 避難者の声 つむぐ』発行
- ・2022年～：避難者のつながりを保つ場づくりをサポート
- ・2023年～：中国5県における発災時の相互支援体制構築に向けた地域の支援団体育成・強化事業

避難されている方々へ

東日本大震災で全日本国に避難されている方々のための地域連携サイト

2011年 3月 11日 14時45分頃発生

「避難者」とのかかわり～支援の方たち～

精選サイトへ

各地の活動団体紹介

全国にはさまざまな支援活動を展開している団体があります。地域バランスや活動内容などを踏まえてその一部（団体）を紹介しします。このほかにも各地で取組が見られます。



県外避難者の分布と県外避難者の多い都道府県トップ12



1.	東京都	6,360人
2.	埼玉県	4,508人
3.	茨城県	3,789人
4.	神奈川県	3,493人
5.	新潟県	3,268人
6.	千葉県	3,045人
7.	山形県	2,952人
8.	栃木県	2,916人
9.	北海道	1,973人
10.	岡山県	1,018人
11.	愛知県	1,014人
12.	群馬県	998人

県外避難者とは…

福島県では東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所の事故によって、福島県を離れて暮らす人を「県外避難者」としています。同様に、福島県以外からも、住んでいた地域を離れて避難されている方もいます。本冊子では、そうした方も含めて、「県外避難者」と記載しています。

出典は、復興庁「全国の避難者等の数」（平成25年12月27日）を参考に作成

宮城県、徳島県、福島県内三郡ける県民からの避難者数は不明のため地図の加工はしていません。

東日本大震災の広域避難者数

- ・ 全国の避難者数は、約3万人（令和5年11月1日）
- ・ 全国47都道府県、852の市区町村に所在
- ・ 福島県から県外への避難者数 20,558名

816名



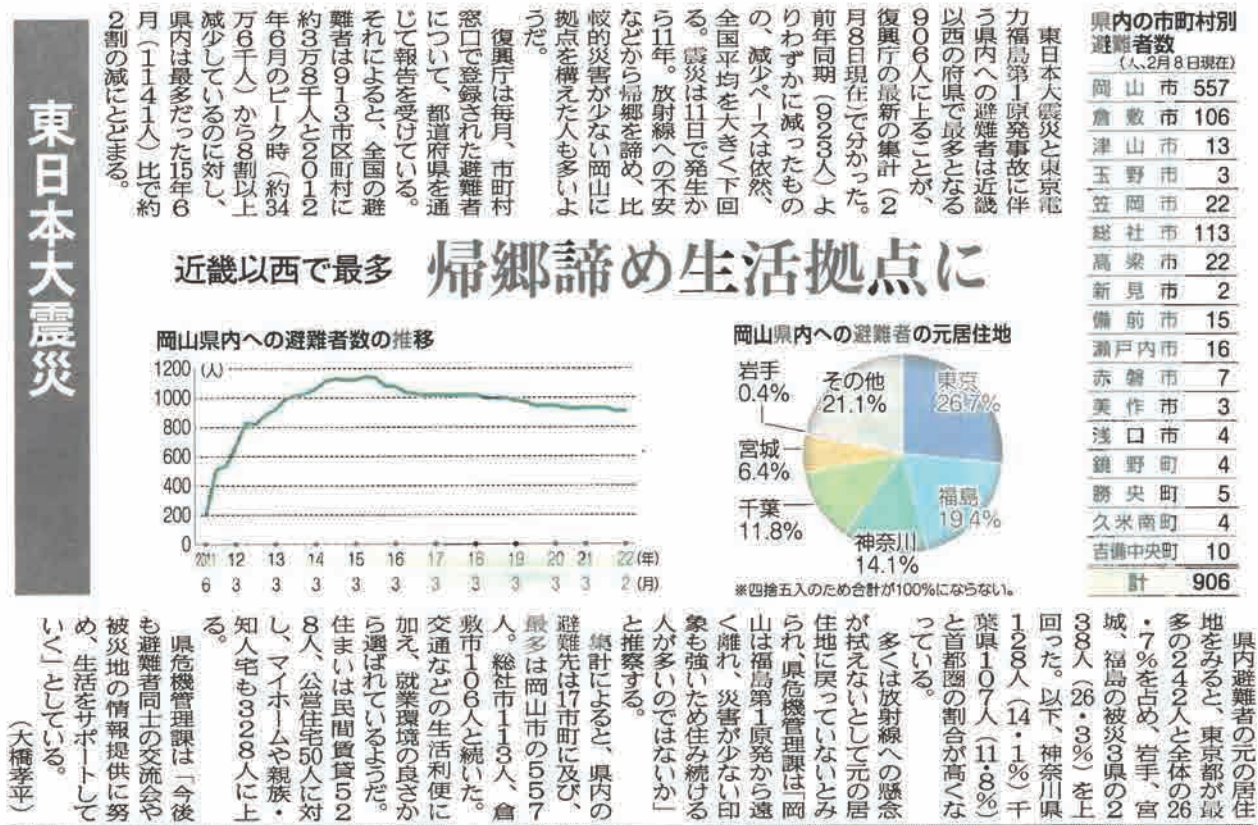
なお906人 県内に避難

○現在も西日本で一番多い避難者数

- ・ 福島県→岡山県 167名
- ・ 他 649名

○他都道府県の避難者数

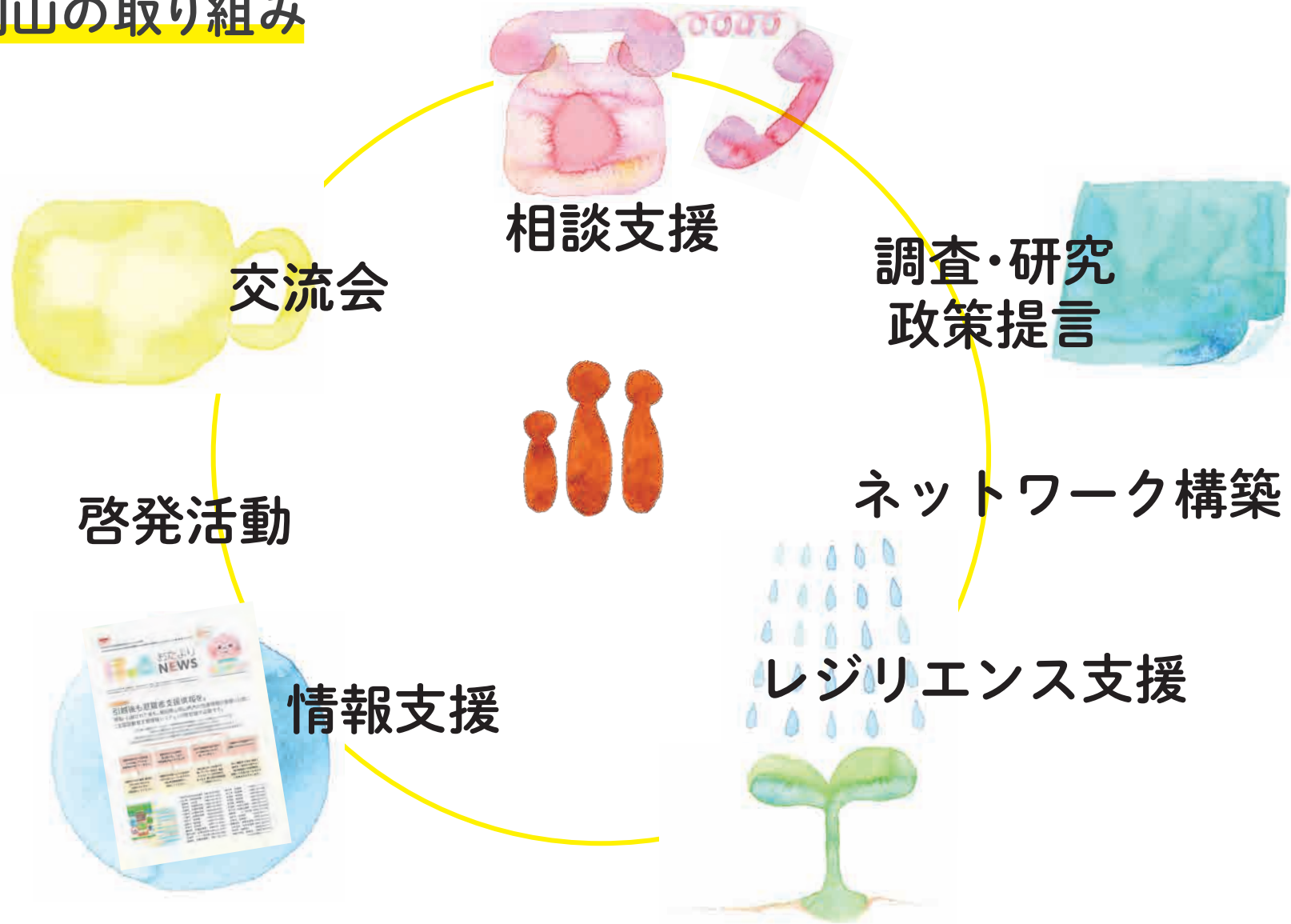
- ・ 鳥取県 58名
- ・ 島根県 46名
- ・ 広島県 324名
- ・ 山口県 43名
- ・ 大阪府 450名
- ・ 兵庫県 488名
- ・ 北海道 753名
- ・ 東京都 2,686名



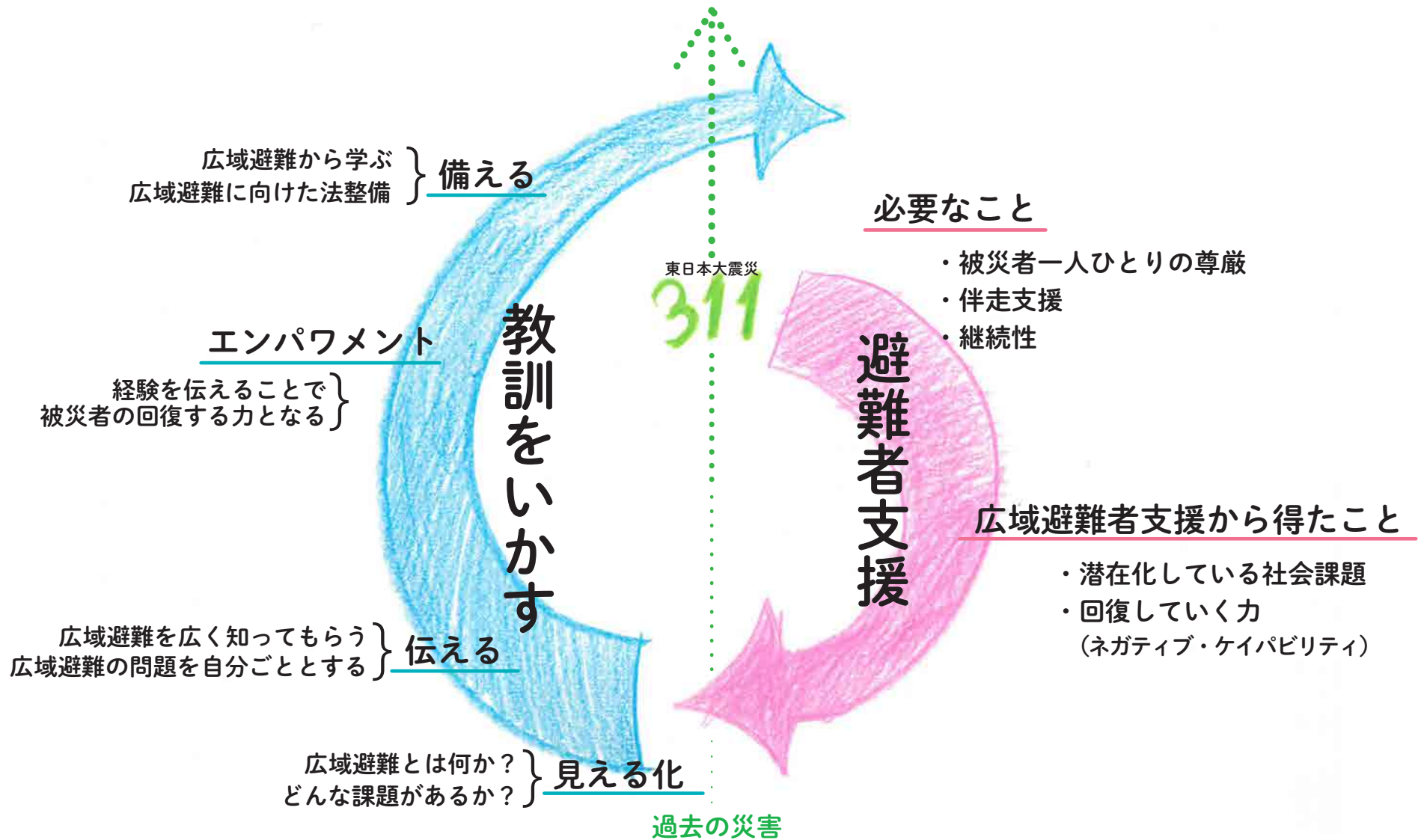
市内町村別避難者数 (人、2月8日現在)	
岡山市	557
倉敷市	106
津山市	13
玉野市	3
笠岡市	22
総社市	113
高梁市	22
新見市	2
備前市	15
瀬戸内市	16
赤磐市	7
美作市	3
浅口市	4
鏡野町	4
勝央町	5
久米南町	4
吉備中央町	10
計	906

※四捨五入のため合計が100%にならない。

ほっと岡山の取り組み



次の災害にいかす！



「広域避難者支援基盤強化プロジェクト

被災者一人ひとりに向けた災害ケースマネジメントの実践」

長期アウトカム

社会の中の小さな声を聞き、誰一人取り残さない地域になる

すべての避難者が、誰一人取り残されないような地域のモデルとなり制度につなげる

中期アウトカム

地域・社会にむけて

災害文化の醸成がすすみ
広域避難の拠点が設置される

当事者主体

取り残されがちな**広域避難者**が
避難先地域で一人ひとりの
尊厳が守られ、安心して
生活再建がすすむ

支援者

広域避難者支援に関わる多様な組織が
被災者を主体において
安全かつ安定的な支援に取り組むことで
人と人が連帯して助け合うようになる

プロジェクト 8つの活動

- 1 被災者支援ソーシャルワーク研修
- 2 広域避難者支援の拠点設置
- 3 広域避難者支援のてびき作成
- 4 支援者同士のエンパワメントを促す場、ワークショップ等の実施
- 5 災害ケースマネジメントを行う支援団体の紹介
- 6 支援者同士のつながりの機会創出
- 7 被災者支援ソーシャルワーク研修
フォローアップ支援の実施
- 8 広域避難者支援をコーディネートするシステムの提案



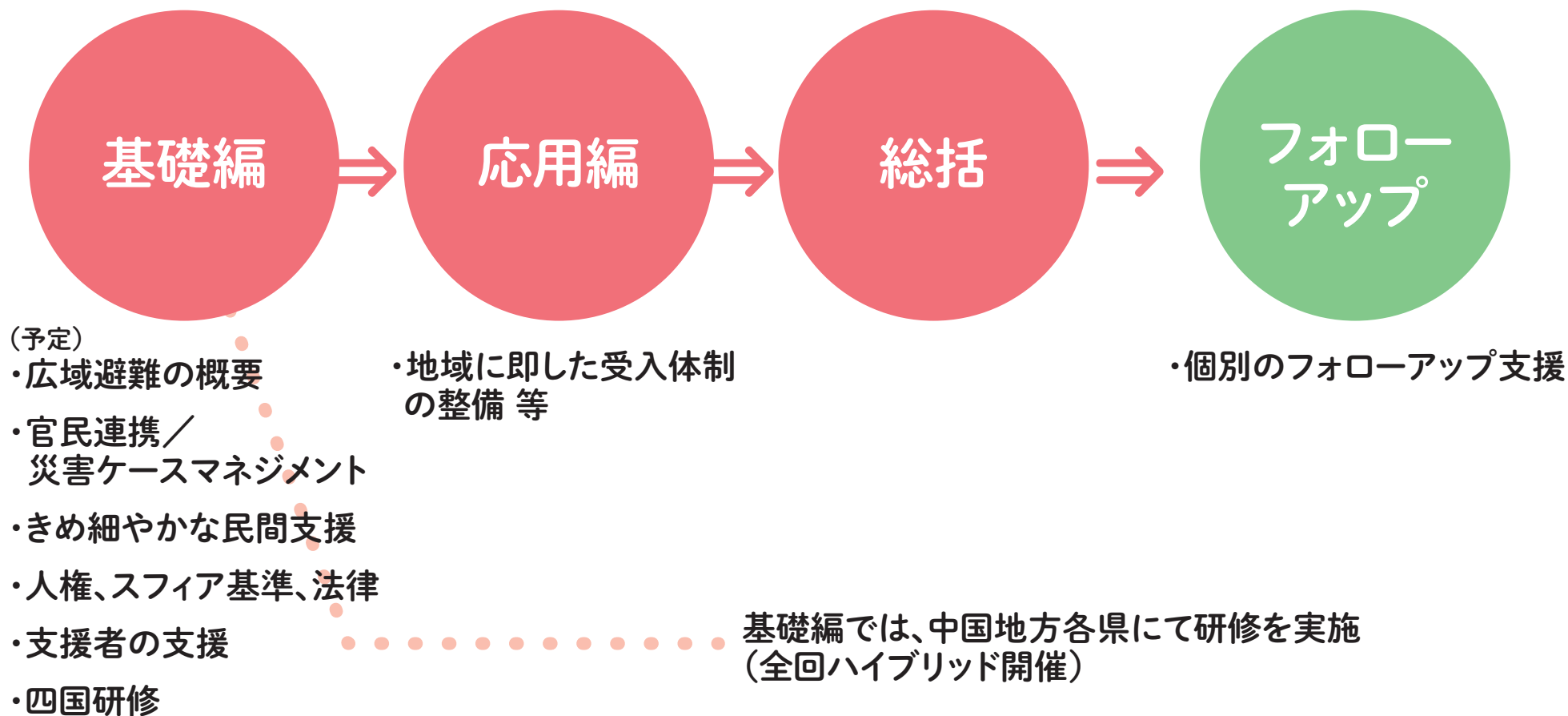
広域避難者支援基盤強化プロジェクト 有識者会議

敬称略

青田 良介	兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授／一般社団法人ほっと岡山顧問
田並 尚恵	川崎医療福祉大学 准教授
津賀 高幸	東日本大震災支援全国ネットワーク
真壁 さおり	社会福祉士、元宮城県サポートセンター支援事務所所属
三浦 綾	ひろしま避難者の会「アスチカ」代表
佐藤 淳子	とっとり震災支援連絡協議会 事務局長
多田 伸志	特定非営利活動法人 岡山マインド「こころ」代表理事
千田 元久	岡山県危機管理課 課長
渡邊 聡志	岡山県福祉企画課 課長
高平 亮	特定非営利活動法人 岡山NPOセンター
(オブザーバー)	
橘 哲也	岡山県社会福祉協議会地域福祉部 地域支援班主任
岸 祐生	特定非営利活動法人岡山NPOセンター／ 休眠預金活用コンソーシアムプログラムオフィサー

1 被災者支援ソーシャルワーク研修

広域避難の問題を取りこぼさず、被災者支援のあり方をともに考え学びあいます



今日の流れ

[第1部 被災者ソーシャルワーク研修] 14:00～

●あいさつ・説明(一般社団法人ほっと岡山 はっとりいくよ)

●当事者のお話:

東日本大震災広域避難者／西日本豪雨被災者・支援者

●広域避難者支援の概要(青田良介氏)

●休憩

●グループワーク:

広域避難の課題とアイデアを出しあう

●あいさつ・説明

[第2部 参加型ワークショップ] 16:30～

●ワークショップ 自己紹介でネットワークづくり

●終了後、懇親会

当事者のお話



西日本豪雨被災者・支援者

多田 伸志 さん

NPO法人 岡山マインド「こころ」代表理事、
一般社団法人お互いさま・まびラボ／副代表理事

1960年広島県尾道市生まれ。地方市場でマグロを解体していたが、思うところがあり24時間全開放病棟の精神科病院まきび病院の相談員として23年間、失敗を重ねながら勤務。当事者が堂々と「隠さず」に地域で暮らすことを目的に2002年NPO法人岡山マインド「こころ」を当事者の仲間たちと設立。2011年には、補助金をもらわない地ビール醸造所・ビアホールと、仲間で助け合って暮らすグループホームを立ち上げ、22部屋をまちの中に当たり前に展開する。2014年にはマインド作業所（地域活動支援センターⅢ型）を開設し、地ビールの原料である麦芽をつくるアメリカ製の製麦プラントを整備し、岡山大学資源植物科学研究所（倉敷市）で開発された大麦から本物の倉敷産地ビールをお披露目する寸前、2018年7月西日本豪雨災害で真備町は泥水に沈み、大きく被災する。しかしその後もまちの住民と共に復旧・復興への活動を続け、2019年には真備町内の約30団体が参加する医療・福祉事業所の任意の会「真備連絡会（真備地区関係機関・事業所等連絡会）」の有志で復興まちづくり会社「一般社団法人お互いさま・まびラボ」を設立し、精神障害者も参画する被災者支援活動も行いながら更にまちへの土着を目指している。

[タイトル] 広域避難者支援とは — 住み慣れた土地を離れる人々を支える

[講師] 青田良介氏(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授)



兵庫県職員として阪神・淡路大震災を経験。その後、アジア防災センター派遣等を経て、職務の傍ら、神戸大学 大学院で博士(学術)取得。2015年兵庫県立大学防災教育研究センター准教授、2017年より現職。専門は被災者支援政策、防災行政、国際防災協力。研究と実務双方の経験から、行政セクターと市民セクターとの連携・協働、自助・共助・公助の役割分担が、災害に強い社会づくりに不可欠と考えています。東日本大震災・福島原発事故を契機に広域避難者の問題が発生し、これら避難者を支援する手法として災害ケースマネジメントが注目されています。元日に発生した能登半島地震でも広域避難者が発生しています。将来的には、南海トラフ地震を想定した広域避難者支援のシステム構築が必要と考えており、このプロジェクトの成果が生かされるよう願っています。

参考

◎災害ケースマネジメント実施の手引き(令和5年3月／内閣府防災担当)

chrome-extension://efaidnbmnnnibpcajpcglclefindmkaj/https://www.bousai.go.jp/taisaku/hisaisyagousei/case/pdf/r5zenpen.pdf

◎災害時のソーシャルワークを学ぶためのコンテンツ

chrome-extension://efaidnbmnnnibpcajpcglclefindmkaj/http://www.fukushiokayama.or.jp/files/4516/8439/8181/5.18230508_.pdf

岡山県社会福祉協議会発行。被災者見守り・相談支援事業実施センターにおいて支援した事例を踏まえながらソーシャルワーク理論をもとに支援の目線合わせを行います。

◎愛知版・災害ケースマネジメントの手引き

<https://rsy-nagoya.com/rsy/blog/2024/03/aichi-dcm.html>

発行日 2024年3月25日 発行 認定NPOレスキューストックヤード

〒461-0001 名古屋市東区泉 1-13-34 名建協2階

TEL 052-253-7550 FAX 052-253-7552

監修 青田良介 編集 愛知県被災者支援センター・パーソナルサポート支援チーム会議・向井忍

DLはこちらから↓



参考



●2024年震災フォーラム(主催:一般社団法人ほっと岡山)

『今、広域避難を考える 東日本大震災+能登半島地震』

https://www.youtube.com/watch?v=6Phs2h9E_88